

中央区協働推進会議（第1回）議事要旨

1. 日時

平成19年11月9日（金）10:00～12:00

2. 場所

中央区役所別館6階A会議室

3. 出席者

【委員】

瀧澤利行（会長）、山岸秀雄（副会長）、山井理恵、古澤悦子、安嶋潔、
豊田正文、小泉典久、斉藤進

【事務局】

地域振興課長、協働推進主査

（主な議題）

1. 会議の運営について
 2. 中央区のこれまでの協働の取組について
 3. 今後のスケジュールについて
-

〔議事の経過〕

- 1 中央区協働推進会議設置要綱、中央区協働推進会議傍聴人規則について事務局から説明があり、了承された。また、会長として瀧澤委員が互選され、副会長として山岸委員が指名された。
- 2 中央区の協働のこれまでの取組について事務局から説明があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見等は以下のとおりである。
 - 中央区ではここ1年くらいでだいぶ協働が進んできたが、決して協働が進んでいるほうではない。ワンストップサービスができれば動き出すと思う。それが本会議の設置の意味でもある。
 - 地元企業とも協働を実施していくのが、中央区の特徴になると考える。
 - NPOがお互い横のネットワークをつくって、どうやって区内で活動していけるか。もうひとつはずみをつける仕組みが大切である。
 - 地域の見守りのしくみのような目的をもったネットワークをつくる必要がある。
 - NPO法人、ボランティア団体、町会・自治会等が、役割分担をあまり規定しないですべてが同じ立場で区の活動に関わってもらいたい。

- NPOは団体間で財政基盤に格差がある。この会議では支援の必要なところにどのような支援をしていくのか、どう活動できるような体力をつけていくのか提言していくことになる。
 - 行政のNPOへの資金支援については、納税者に納得いただけるかなどの問題もある。それをどう説明できるような仕組みをつくるかが課題である。
- 3 会議の今後のスケジュールについて、事務局から説明がなされた。平成21年7月の中間報告で4つの重要な柱（協働の仕組みづくり、中間支援のあり方、協働事業の評価、人材育成方法）について具体的に提案し、その後6回かけて最終報告を出すことが確認された。また、次回に向けて各委員が「意見シート」を提出することが了承された。
- 4 次回会議については、平成21年1月31日（木）14時から行われることとなった。